

令和4年6月22日 県政記者クラブ・岐阜経済記者クラブ配付資料
 ※6月22日（水曜日）午前11時00分から岐阜経済記者クラブにてプレス発表を行います。

担当課	担当	担当者	連絡先
(公財)岐阜県産業経済振興センター	調査広報担当	森 裕介	058-277-1085

2. 景況アンケート調査結果

概況: 景況感は、製造業、非製造業ともに、持ち直した。

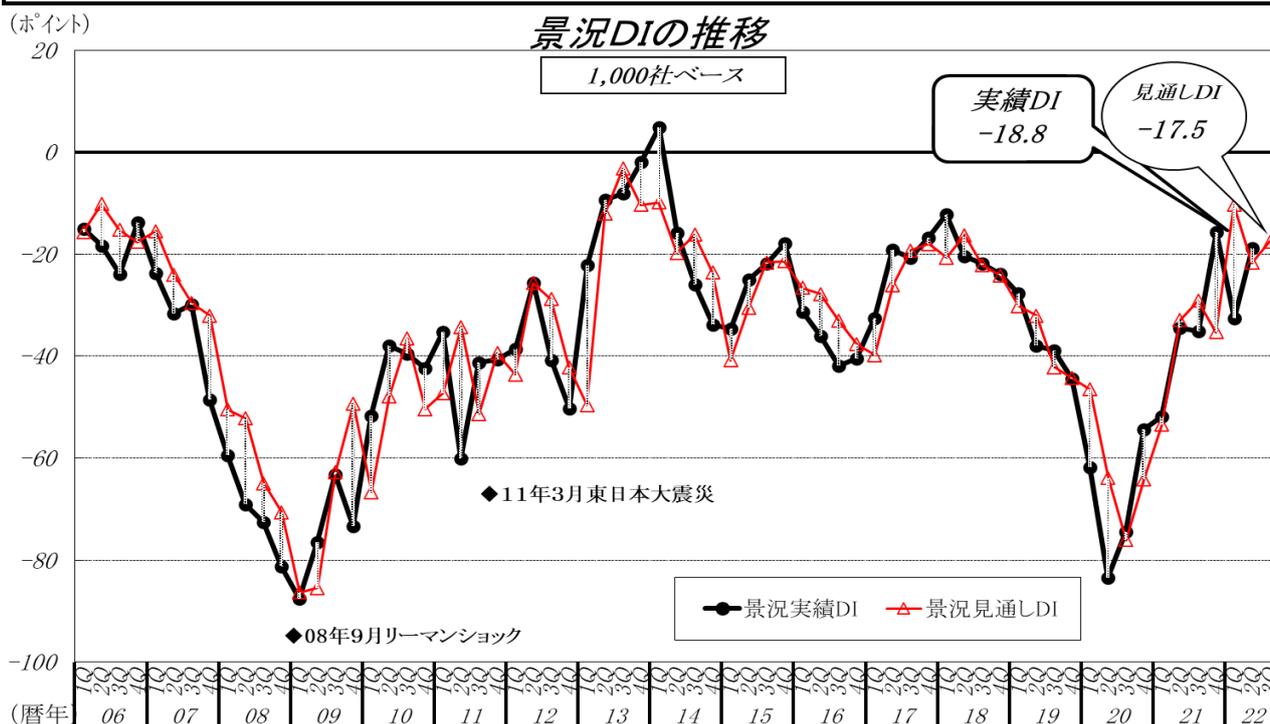
来期は、全体として小幅ながら改善傾向が続く見通し。

【2022年 4 - 6月期実績】

- 景況DIは2期ぶりに上昇
- 売上高DIは2期ぶりに上昇、輸出向け売上高DIは3期ぶりの上昇
- 生産量DIは3期連続の低下、受注量DIは2期ぶりに上昇
在庫量DIは2期ぶりの上昇
- 製品販売価格DIは8期連続の上昇、原材料仕入価格DIは8期連続の上昇（悪化）、採算DIは4期ぶりの上昇（原数値：▲40.1）
- 資金繰りDIは2期ぶりに上昇、借入れ難易感DIは2期連続で悪化
- 設備投資実施は2期連続で低下、設備投資意欲DIは2期ぶりの上昇
- 雇用状況DIは4期連続で「不足感」が拡大（原数値：▲31.9）

【2022年 7 - 9月期見通し】

- 景況DIは製造業では上昇、非製造業では低下、全体では上昇の見通し



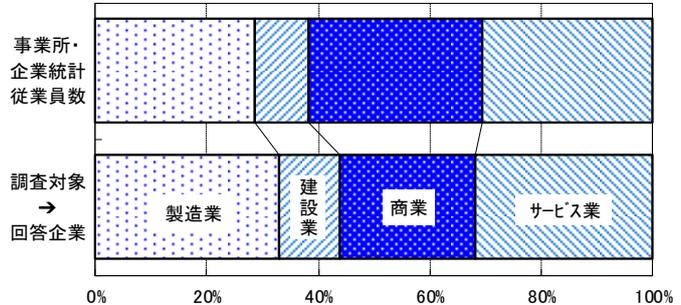
調査概要

調査機関	(公財)岐阜県産業経済振興センター
調査時点	2022年6月1日
対象	岐阜県内企業経営者
サンプル数	1,000
有効回答数	586
有効回答率	58.6%

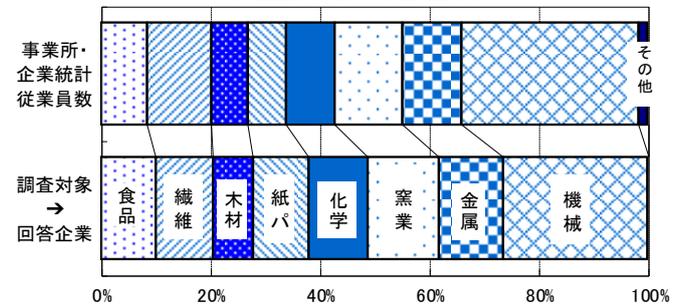
1 業種別

区分	調査サンプル		事業所・企業統計		
	回答件数	構成比 (%)	従業員数	構成比 (%)	
2区分	合計	586	100.0	886,041	100.0
	製造業	189	32.3	253,924	28.7
	非製造業	397	67.7	632,117	71.3
4区分	合計	586	100.0	886,041	100.0
	製造業	189	32.3	253,924	28.7
	建設業	66	11.3	84,396	9.5
	商業	143	24.4	277,851	31.4
	サービス業	188	32.1	269,870	30.5
業種別	合計	586	100.0	886,041	100.0
	食品	19	3.2	21,461	2.4
	繊維・衣服	21	3.6	29,408	3.3
	木材・家具	14	2.4	17,018	1.9
	紙・パルプ・印刷	19	3.2	17,808	2.0
	化学・プラスチック	18	3.1	22,862	2.6
	窯業土石	16	2.7	31,402	3.5
	金属製品	25	4.3	26,907	3.0
	機械	57	9.7	82,461	9.3
	その他	0	-	4,597	0.5
	建設	66	11.3	84,396	9.5
	運輸・通信	31	5.3	44,569	5.0
	卸売	50	8.5	59,752	6.7
	小売	78	13.3	148,115	16.7
	飲食店	15	2.6	69,984	7.9
	サービス	157	26.8	225,301	25.4

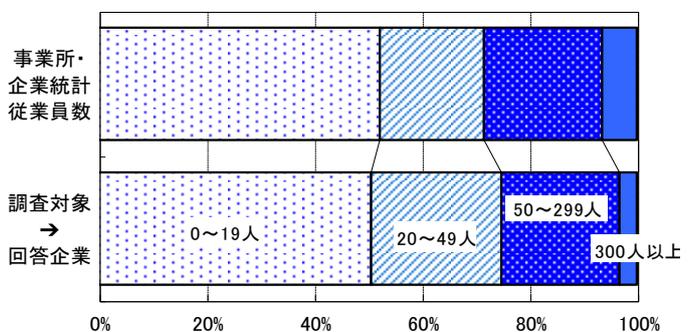
業種別構成比



業種別構成比(製造業)



従業員数規模別構成比



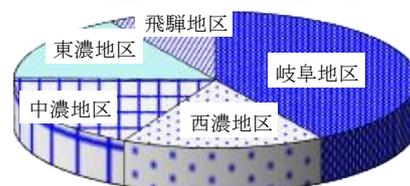
2 従業員数規模別

区分	調査サンプル		事業所・企業統計	
	回答件数	構成比 (%)	従業員数	構成比 (%)
合計	586	100.0	886,041	100.0
0~19人	300	51.2	462,410	52.2
20~49人	143	24.4	170,399	19.2
50~299人	122	20.8	196,045	22.1
300人以上	21	3.6	57,187	6.5

3 地区別

区分	回答	構成比	従業員数	構成比
合計	586	100.0	886,041	100.0
岐阜地区	230	39.2	344,125	38.8
西濃地区	104	17.7	158,313	17.9
中濃地区	109	18.6	159,467	18.0
東濃地区	92	15.7	144,816	16.3
飛騨地区	51	8.7	79,320	9.0

回答企業の構成比(地区別)



(注) 構成比については、各区分単位で小数点以下第2位を四捨五入して求めたので、その合計が100%とならないことがある。

調査対象企業の決定方法

- 1 岐阜県「事業所・企業統計調査(平成13年)」の業種別従業員数の構成比を基準とする。
- 2 従来からの調査対象企業に加えて、新たに当センターの企業情報データベースから上記基準にて抽出した。

調査結果の概要

「岐阜県の景況調査（2022年 第2四半期）」

概況：景況感は、製造業、非製造業ともに、持ち直した。

来期は、全体として小幅ながら改善傾向が続く見通し。

今回の調査結果の概要

景況DIは、製造業が8.4ポイント上昇、非製造業が17.8ポイント上昇した結果、全体で2期ぶりに13.7ポイント上昇（原数値は▲18.8）となった。来期の見通しは、製造業で7.2ポイント上昇、非製造業で1.6ポイント低下、全体では1.3ポイント上昇を予想している。

業種4区分で見ると、前期からの増減は「サービス業」+25.1ポイント、「商業」+24.1ポイント、「製造業」+8.4ポイント、「建設業」▲14.9ポイントとなり、「建設業」以外の業種では上昇した。

製造業を業種別にみると、「食品」（49.6ポイント）、「繊維・衣服」（40.6ポイント）、「紙・パルプ・印刷」（9.2ポイント）、「金属製品」（9.1ポイント）、「窯業土石」（7.1ポイント）で上昇し、「機械」（0.0ポイント）は横ばい。「木材・家具」（▲1.4ポイント）、「化学・プラスチック」（▲53.0ポイント）で低下した。

非製造業を業種別にみると、「飲食店」（99.9ポイント）、「サービス（余暇関連）」（95.3ポイント）、「小売」（17.1ポイント）、「サービス（企業関連）」（13.4ポイント）、「卸売」（11.4ポイント）で上昇し、「運輸・通信」（▲1.7ポイント）、「建設」（▲14.9ポイント）で低下した。

生産活動に関わるDIでは、売上高DIは製造業、非製造業ともに上昇。製造業の輸出DIも上昇した。生産量DIは製造業、非製造業ともに低下。受注量DIは製造業で低下し、非製造業で上昇した。在庫量DIは製造業、非製造業ともに上昇した。

来期の見通しは、製造業では売上高DI、輸出DI、生産量DI、受注量DI、在庫量DIの全てで上昇を予想している。非製造業では売上高DI、生産量DIは低下、受注量DI、在庫量DIは上昇を予想している。

販売活動に関わるDIでは、販売価格DIは製造業、非製造業ともに上昇し、仕入価格DIは製造業、非製造業ともに上昇（悪化）した。採算DIは製造業、非製造業ともに上昇した。

来期の見通しは、製造業、非製造業ともに販売価格DI、採算DIで上昇を予想しており、仕入価格DIも低下（改善）を予想している。

資金繰りに関わるDIでは製造業、非製造業ともに、資金繰りDIは改善し、借入難易感DIは悪化した。

来期の見通しは、資金繰りDIは製造業では改善し、非製造業は悪化を予想。借入難易感DIは製造業、非製造業ともに悪化を予想している。

設備投資実施状況において、実施した企業は全体で▲3.0%と低下した。設備投資意欲DIは製造業、非製造業ともに上昇している。

来期の見通しは、設備投資の実施予定のある企業は全体で5.3%と上昇を予想しており、設備投資意欲DIも製造業、非製造業ともに上昇を予想している。

雇用状況DIは、製造業で「不足感」が縮小、非製造業で拡大した。

来期の見通しは、製造業で「不足感」が拡大、非製造業で縮小を予想している。

雇用状況DIに関しては、原数値が▲31.9と人員不足の状況が継続している。

D I 別の状況

景況D Iは、製造業で8.4ポイント、非製造業で17.8ポイント上昇し、全体で13.7ポイント上昇と2期ぶりに上昇した。製造業では「食品」(49.6ポイント)、「繊維・衣服」(40.6ポイント)、「紙・パルプ・印刷」(9.2ポイント)、「金属製品」(9.1ポイント)、「窯業土石」(7.1ポイント)で上昇し、「機械」(0.0ポイント)は横ばい。「木材・家具」(▲1.4ポイント)、「化学・プラスチック」(▲53.0ポイント)で低下した。非製造業では「飲食店」(99.9ポイント)、「サービス(余暇関連)」(95.3ポイント)、「小売」(17.1ポイント)、「サービス(企業関連)」(13.4ポイント)、「卸売」(11.4ポイント)で上昇し、「運輸・通信」(▲1.7ポイント)、「建設」(▲14.9ポイント)で低下した。来期は製造業が7.2ポイントの上昇、非製造業が1.6ポイントの低下、全体で1.3ポイントの上昇を予想している。

売上高D Iは、製造業で4.5ポイント、非製造業で18.6ポイント上昇し、全体で13.3ポイント上昇し2期ぶりに上昇した。製造業では主に「窯業土石」(34.5ポイント)、「紙・パルプ・印刷」(25.8ポイント)で上昇し、「木材・家具」(0.0ポイント)は横ばいであった。一方、主に「機械」(▲15.0ポイント)、「化学・プラスチック」(▲19.0ポイント)で低下した。非製造業では主に「サービス(余暇関連)」(87.2ポイント)、「飲食店」(79.5ポイント)、「卸売」(20.4ポイント)で上昇、「運輸・通信」(▲3.0ポイント)、「建設」(▲14.9ポイント)で低下した。来期は、製造業が11.2ポイントの上昇、非製造業が2.8ポイントの低下、全体で1.7ポイントの上昇を予想している。

輸出向け売上高D Iは、全体で4.1ポイント上昇し3期ぶりに上昇した。業種別では主に「食品」(61.4ポイント)、「木材・家具」(25.0ポイント)で上昇。一方「化学・プラスチック」(▲5.9ポイント)、「金属製品」(▲24.8ポイント)、「窯業土石」(▲2.2ポイント)で低下した。来期は、全体で4.4ポイントの上昇を予想している。

生産量D Iは、製造業で4.0ポイント、非製造業(建設業のみ)で16.7ポイント低下。全体で7.5ポイント低下し3期連続で低下した。製造業では「窯業土石」(42.8ポイント)、「食品」(30.6ポイント)で上昇。一方、主に「化学・プラスチック」(▲25.5ポイント)、「金属製品」(▲25.0ポイント)、「機械」(▲20.1ポイント)で低下した。来期は、製造業で12.7ポイント上昇、非製造業(建設業のみ)が16.9ポイント低下、全体で5.1ポイントの上昇を予想している。

受注量D Iは、製造業が2.0ポイント低下、非製造業で20.2ポイント上昇、全体で11.8ポイント上昇し2期ぶりに上昇した。製造業では主に「窯業土石」(32.1ポイント)、「食品」(31.1ポイント)で上昇。一方、主に「金属製品」(▲25.8ポイント)、「化学・プラスチック」(▲19.9ポイント)、「機械」(▲16.7ポイント)で低下した。非製造業では主に「サービス(余暇関連)」(94.2ポイント)、「飲食店」(72.5ポイント)で上昇。一方、「建設」(▲19.2ポイント)は低下している。来期は製造業が13.8ポイント、非製造業が1.2ポイント上昇、全体で5.4ポイントの上昇を予想している。

在庫量D Iは、製造業で3.8ポイント、非製造業(サービス業を除く)で17.8ポイント上昇し、全体でも10.0ポイント上昇し2期ぶりに上昇した。製造業では主に「窯業土石」(28.9ポイント)、「繊維・衣服」(24.8ポイント)で上昇。一方、主に「機械」(▲20.7ポイント)、「化学・プラスチック」(▲5.5ポイント)で低下した。非製造業では、主に「飲食店」(33.8ポイント)、「卸売」(30.8ポイント)の上昇幅が目立った。来期は、製造業が1.1ポイント、非製造業が1.5ポイント上昇、全体で1.4ポイントの上昇を予想している。

製品販売価格D Iは、製造業で11.7ポイント、非製造業で12.5ポイント上昇し、全体で11.6ポイント上昇し8期連続で上昇した。製造業では主に「紙・パルプ・印刷」(40.0ポイント)、「窯業土石」(37.5ポイント)、「金属製品」(26.7ポイント)、「化学・プラスチック」(11.1ポイント)で上昇。一方、「食品」(▲1.7ポイント)、「繊維・衣服」(▲16.7ポイント)で低下した。非製造業では主に「飲食店」(66.7ポイント)、「サービス(余暇関連)」(36.3ポイント)で上昇。一方、「運輸・通信」(▲8.9ポイント)で低下した。来期は、製造業が4.1ポイント、非製造業が1.0ポイント上昇、全体で1.8ポイントの上昇を予想している。

原材料仕入価格DIは、製造業で2.9ポイント、非製造業で10.4ポイント上昇（悪化）し、全体でも6.8ポイント上昇（悪化）し8期連続で上昇（悪化）した。製造業では主に「機械」（▲6.2ポイント）、「木材・家具」（▲5.1ポイント）で低下（改善）した。一方、主に「食品」（18.1ポイント）、「紙・パルプ・印刷」（14.5ポイント）、「窯業土石」（12.5ポイント）で上昇（悪化）した。非製造業では「運輸・通信」（▲9.1ポイント）、「卸売」（▲7.7ポイント）で低下（改善）。一方、主に「サービス（余暇関連）」（23.0ポイント）、「サービス（企業関連）」（18.3ポイント）で上昇（悪化）した。来期は、製造業が4.8ポイント、非製造業が8.0ポイント低下（改善）、全体で6.9ポイントの低下（改善）を予想している。

採算DIは、製造業で5.4ポイント、非製造業で9.8ポイント上昇し、全体で8.5ポイント上昇し4期ぶりの上昇あった。製造業では主に「紙・パルプ・印刷」（17.7ポイント）、「木材・家具」（14.9ポイント）、「繊維・衣服」（10.1ポイント）で上昇。「化学・プラスチック」（▲8.3ポイント）で低下となった。非製造業では主に「飲食店」（48.3ポイント）、「サービス（余暇関連）」（46.2ポイント）で上昇。「建設」（▲14.7ポイント）、「卸売」（▲8.4ポイント）で低下した。来期は、製造業が7.2ポイント、非製造業が3.1ポイント上昇、全体で4.5ポイントの上昇を予想している。

資金繰りDIは、製造業で4.1ポイント、非製造業で10.4ポイントの改善。全体でも8.3ポイントの改善となり、2期ぶりの改善となった。製造業では主に「木材・家具」（18.2ポイント）、「食品」（13.2ポイント）、「窯業土石」（10.4ポイント）で改善。「金属製品」（▲2.8ポイント）、「化学・プラスチック」（▲19.4ポイント）で悪化した。非製造業では主に「サービス（余暇関連）」（62.2ポイント）、「飲食店」（30.0ポイント）、「卸売」（10.8ポイント）で改善。「運輸・通信」（▲8.1ポイント）で悪化した。来期は、製造業が1.6ポイント改善、非製造業が1.6ポイント悪化、全体で0.6ポイントの悪化を予想している。

借入れ難易感DIは、製造業で1.0ポイント、非製造業で0.2ポイントの悪化。全体で0.4ポイントの悪化となり、2期連続の悪化となった。製造業では主に「紙・パルプ・印刷」（11.6ポイント）、「窯業土石」（7.4ポイント）で改善。一方、主に「機械」（▲7.6ポイント）、「木材・家具」（▲7.2ポイント）で悪化した。非製造業では主に「飲食店」（9.6ポイント）、「サービス（企業関連）」（2.4ポイント）で改善、「建設」（▲1.8ポイント）、「サービス（余暇関連）」（▲4.3ポイント）、「運輸・通信」（▲9.1ポイント）で悪化した。来期は、製造業が4.4ポイント、非製造業が4.3ポイント悪化、全体で4.5ポイントの悪化を予想している。

設備投資実施（％）は、製造業で6.1ポイント、非製造業で0.5ポイント低下。全体で3.0ポイント低下し、2期連続の低下であった。製造業では「食品」（3.2ポイント）、「木材・家具」（1.3ポイント）で上昇。一方、主に「紙・パルプ・印刷」（▲28.9ポイント）、「化学・プラスチック」（▲10.3ポイント）で低下した。非製造業では主に「卸売」（7.0ポイント）、「飲食店」（2.5ポイント）で上昇。一方、主に「運輸・通信」（▲6.3ポイント）、「サービス（余暇関連）」（▲7.1ポイント）で低下した。来期は、製造業が7.9ポイント、非製造業が4.0ポイント上昇、全体で5.3ポイント上昇すると予想している。

設備投資意欲DIは、製造業で1.4ポイント、非製造業で6.0ポイント上昇。全体で3.4ポイント上昇し、2期ぶりの上昇であった。製造業では主に「食品」（34.8ポイント）、「紙・パルプ・印刷」（10.5ポイント）で上昇。一方、主に「木材・家具」（▲33.6ポイント）、「化学・プラスチック」（▲19.9ポイント）で低下した。非製造業では主に「サービス（余暇関連）」（34.8ポイント）、「飲食店」（20.1ポイント）で上昇。一方、主に「建設」（▲11.4ポイント）、「卸売」（▲1.3ポイント）で低下した。来期は製造業が1.6ポイント、非製造業が2.7ポイント上昇、全体で2.4ポイント上昇すると予想している。

雇用状況DIは、製造業で3.2ポイント上昇し、非製造業で1.7ポイント低下。全体では0.3ポイント低下し、4期連続で「不足感」が拡大した。製造業では主に「紙・パルプ・印刷」（▲17.1ポイント）、「窯業土石」（▲10.7ポイント）で「不足感」が拡大した。一方、主に「化学・プラスチック」（31.1ポイント）、「金属製品」（23.5ポイント）では「不足感」が縮小した。非製造業では主に「サービス（余暇関連）」（▲24.4ポイント）、「飲食店」（▲19.9ポイント）で「不足感」が拡大。一方、「建設」（14.0ポイント）、小売（2.6ポイント）は「不足感」が縮小した。来期は、製造業が4.5ポイント低下、非製造業が0.5ポイント上昇、全体で1.1ポイント低下と「不足感」の拡大を予想している。

■ 売上高、生産量、採算、設備投資等の増減理由

《製造業》

1. 新型コロナによる上海のロックダウン及び半導体不足等の影響により減収減益。来期も不透明。
＜西濃 プラスチック製品製造業＞
2. 原材料の値上げが止まらない。価格に反映できていない状態。
＜岐阜 出版・印刷・同関連産業＞
3. 現状のところコロナ及びウクライナ問題に影響されず売上高は順調に続伸。ただし、機械設備の投資を実施するも、納期が遅れることで、予定通りにいかないこともある。
＜中濃 金属製品製造業＞
4. 自転車部品等の生産が好調。自動車関連部品やガス関連機器の部品生産も若干増加している。原材料の高騰もあり、直近決算では過去最高の売上を計上。今後はさらに生産性を高めるためにも設備投資を実施していきたい。
＜中濃 輸送用機械器具製造業＞

《建設業》

1. 原材料高騰前に契約した注文住宅の完成や建売住宅の販売で売上が増加。一方、足元の受注は材料高騰のおかげで減少しており、先が見通せない状況。
＜西濃 総合工事業＞
2. 公共投資・民間設備投資の減少により、受注量は減少している。今期は減収減益。
＜中濃 総合工事業＞
3. すべての資材価格が上昇。特に木材の高騰が著しい。
＜岐阜 総合工事業＞

《商業》

1. 食材の仕入れ先のほぼすべてから値上げの通知が来ている。そのすべてを販売価格に転嫁できていない状況。
＜岐阜 一般飲食店＞
2. 巣ごもり需要で一昨年、昨年と順調であったが、今年度は減収減益。また、仕入面ではウクライナの影響で商品が入らない。原油価格高騰により、仕入コストも大幅に上がってきている。
＜西濃 その他の小売業＞
3. 仕入商品の原材料等の値上がりにより、売上は上がっているが、取扱量が増えているわけではない。一部、新型コロナの影響で減っていたのが戻ってきてはいるが、まだ完全に戻っていない。
＜西濃 その他の卸売業＞

《サービス業》

1. コロナ対策の県民割や地域割が始まり、集客は出来ている。団体も少しずつだが増えている。インバウンドは、全く先行き不明。
＜飛騨 旅館 その他の宿泊所＞
2. コロナの影響も小さくなり、お客様がコロナ前の状況に近づきつつある。しかし燃料を始めとした仕入価格の上昇が早く、採算としてはそれほど伸びていない。
＜岐阜 洗濯・理容・浴場業＞
3. コロナ感染の影響がまだまだ大きく、宿泊客は戻っていない。その上で、燃料費の高騰が著しく、仕事量が増加しても、伴う経費が増大。この先の見通しが全く見えない。
＜飛騨 専門サービス業＞

■ 業界の新しい動きや課題・見通しなど

《製造業》

1. バーチャルでのサンプルづくり・メタバース上での売買・NFT という新しい概念も視野に入れて、新しいアパレルのあり方を模索していきたい。
＜岐阜 衣服、その他の繊維製品製造業＞
2. 環境に良い材料（バイオプラ等）を使用した製品やリサイクルし易い製品の開発を行う動きあり。人材不足問題もあり、講習会や研修会に出向くことで、人材の技術力アップに取り組んでいる。
＜西濃 プラスチック製品製造業＞
3. 労働時間の短縮化や社会保険加入義務、60時間/月超えの残業時給のアップ等、雇用環境が厳しくなっており、中小企業にとっては課題が多い。
＜東濃 プラスチック製品製造業＞

《建設業》

1. ウッドショックで木材価格が高騰しているところに、ロシアのウクライナ侵攻が始まったことから、北欧・ロシアからの木材調達がより困難になっている。
＜西濃 総合工事業＞
2. 土地も値上がり傾向であり、思うように土地購入が出来ない。注文住宅も値上げをせざるを得ない状況であり、受注が伸びていない。
＜西濃 総合工事業＞
3. 物価上昇や金利上昇に備えて財務状況の良い企業などは早めに設備投資や補修・更新等を行おうとする動きあり。
＜岐阜 総合工事業＞

《商業》

1. 資材をはじめ、ほとんどのものが値上がり傾向。価格転嫁も消費者の目が厳しく、なかなか難しい状況が続いている。その中で、人手不足の第一次産業に目を向けて地産地消をテーマに経営の多角化を模索している。
＜中濃 その他の小売業＞
2. 脱炭素への動きが加速している。新商材、新市場を模索しておかなければ、消える商品も出てくるような気がしている。
＜西濃 その他の卸売業＞
3. 現状では経営が困難である、後継者がいないといった理由で廃業やM&Aが進む可能性がある。
＜中濃 建築材料・鉱物・金属材料等卸売業＞

《サービス業》

1. 事業の多角化を進める企業も多いが、資金力が乏しく、思い切った新規参入ができずに現設備に特化した事業展開しかできないところが多いように感じる。
＜西濃 専門サービス業＞
2. 人材不足が深刻。募集しても応募は全くない状況。外国人技能実習生は組合に申し込んでも6ヶ月後の配属となっている。
＜岐阜 その他のサービス業＞
3. 建築コストの上昇が激しく、新店計画は抑制されている。しかし、物価高を上回る消費意欲上昇の可能性もあり、先の見通しは以前よりずいぶん明るくなっている。
＜岐阜 洗濯・理容・浴場業＞

4. 景況ヒアリング調査（定点観測）

以下は、今回の景況調査に当たり、景気の変化に敏感に反応する業種について、同一企業を継続的に個別聴取方式によりヒアリングすることで、景況の変化を調査するものである。

- ※ 4月～6月は、「運送業」「製造業(工作機械)」
7月～9月は、「広告」「紙・パルプ」を予定。

■ 運送業

<景況感・動向>

1. 運送業界の景況感については、コロナ禍で、個人宛荷物の売上が伸びた一方、企業間物流を担う事業者は取り扱い物量が減った。売上自体は前年比よりは良くなったが、企業（特に製造業）の景気が回復していないので、コロナ禍前の水準までには完全に戻っていない。
2. 燃料価格の高騰については、以前から課題であり、燃料サーチャージを要請した当初は、お客様のご理解を頂くのに大変苦慮したが、今回のような状況でも値上げ交渉は継続している。

<ロシアのウクライナ侵攻が与える影響>

3. ロシアのウクライナ侵攻の影響は大きく、今まで入荷できた製品が届かない。納期が計画通りにならず遅れている。また、航空便などでヨーロッパ経由が出航できず第3国経由になり、輸送するための便数が確保できていない。

<運送業界を取り巻く課題と取組・方針、事業戦略>

4. 脱炭素問題では、EVトラックの実証実験を行っている。今の技術では走行距離が伸びない点が課題で、3tトラックの比較では、ディーゼル車で600kmの航続距離が、EV車では60kmしか伸びず、トラック専用の充電ステーションも多くない。実用化までには時間がかかりそうだ。
5. ロジスティクスに関しては、各店舗の倉庫併設や自社倉庫の増設を行い、商品の梱包から輸送まで情報の一本化や、集荷の手間や人員削減などに取り組んでいる。
6. 人手不足による物流効率化やSDGsの観点から、地域で企業間連携を行って、持続可能な物流に取り組んでいる。また、鉄道などへモーダルシフトすることで、共同輸配送による長距離の輸配送の省力化、トラックドライバーの労働環境改善にも繋げている。

<人材採用等>

7. 物流の2024年問題では、トラックドライバーの労働時間が企業に大きな影響を与える。トラックドライバーの高齢化や人手不足が懸念されるため、業界全体で「ホワイト物流」推進運動を行っている。今後も働き方改革で、トラックドライバーの地位向上と若手の育成に力を入れていく。
8. トラックドライバーの退職理由で多いのは、長時間労働や休日が少ないなどが挙げられ、長距離輸送で3日間拘束され家に帰れないといった勤務形態が難しくなってきた。できるだけ時間外勤務のない勤務体系の構築が求められており、モーダルシフトやダブル連結トラックの導入など、新たな取り組みも行っている。
9. トラックドライバーの人手不足では、積極的に新規高卒者も採用している。人材育成として、免許取得などの支援も行っており、今後も継続して採用していく予定である。

■ 製造業（工作機械）

<景況感・現状等>

1. 一般社団法人日本工作機械工業会の発表によると、直近2022年4月の工作機械産業の受注総額は、1,549億円/月（前年同月比125.0%）となっており、2022年累計でも6,031億円（前年同期比135.2%）となっている。同様に2022年4月の外需は1,017億円/月（前年同月比115.8%）、内需は532億円/月（同比147.5%）。2022年累計の外需は3,966億円（前年同期比126.9%）、内需は2,064億円（同比154.7%）となっており、国内外ともに設備投資は旺盛である。業界の健全な受注金額の目安である受注総額1,000億円/月を上回るのは13ヶ月連続であり、受注総額が1,500億円/月を上回るのは2ヶ月連続。
2. 世界的にもコロナの影響から脱しつつあり、生産活動が活発化。現在では、特に欧米や欧州からの受注が堅調。中国は上海のロックダウン等あるものの、受注数は維持できている。他方、国内においても昨年の事業再構築補助金の開始とともに設備投資需要が拡大しており、工作機械への受注が増加している。
3. 物流面では上海ロックダウンの影響等で海運が停滞し、部材不足が表面化している。また、スマートフォンの生産増加やコネクテッドカーの誕生、5Gの広まりによって、慢性的に不足していた半導体であるが、コロナ後の工作機械需要の急速な高まりによって、その問題が顕在化。現在においても解消するどころか、深刻化しており、生産計画に遅れが生じつつある。

<事業戦略等>

4. 物流費上昇や原材料価格の高騰、急激な円安の影響で、原価は上昇している。海外向けでは最近の円安により相殺できているものの、国内向けにおいては値上げを実施し、価格転嫁している。
5. コロナ禍において、海運・空運の停滞や東南アジア地域のロックダウンによる生産の一時停止など、グローバル化のリスクが露見された。トータルコストで見れば、国内生産の方が有利である分野もでてきたことから、一部では国内回帰が進むと考えている。
6. 省エネ化の一環として、製造現場では太陽光発電の導入やLED化、石油製品を植物由来製品に切り替えるなどの取り組みを行っている。また、生産工程にDXを取り入れることで、「見える化」を推進。生産リードタイムの削減とともに脱炭素化にも貢献している。作業の効率化と脱炭素化は顧客のトレンドにも現れており、IoTを取り入れた工作機械への需要は高まっている。将来的にはAIを搭載した工作機械の開発も期待されている。
7. 国内において、自動車のEV化は進捗しているものの、バッテリー性能等の問題から、本格的な量産体制に入っていない。工作機械メーカーとしての動きも未だ限定的である。

<雇用、働き方改革等>

8. コロナの落ち着いたに伴い、対面での営業活動も再開しており、従来通りの働き方に戻っている。感染者数も減少しており、生産ラインの停止はほとんどなくなっている。一方、Web会議は一般化しており、仕事の効率化に寄与している。
9. 採用活動はオンラインのみの場合に比べ、学生と企業側でのミスマッチを無くすため、現状はオンラインと対面を併用している。

(参考資料1)2022年6月調査 計数表

景況DI

(ポイント)

期	全業種				うち 製造業				うち 非製造業				
	好転	変わらず	悪化	DI	好転	変わらず	悪化	DI	好転	変わらず	悪化	DI	
2021	1-3	10.0	28.2	61.8	-51.8	12.5	29.5	58.0	-45.5	8.8	27.5	63.7	-54.9
	4-6	15.8	33.9	50.2	-34.4	23.9	31.2	45.0	-21.1	11.5	35.4	53.1	-41.6
	7-9	14.1	36.7	49.2	-35.1	24.5	37.8	37.8	-13.3	9.4	36.2	54.4	-45.0
	10-12	21.5	41.4	37.2	-15.7	29.0	37.4	33.6	-4.6	17.0	43.7	39.3	-22.3
2022	1-3	14.8	37.9	47.3	-32.5	21.5	39.3	39.3	-17.8	11.0	37.1	52.0	-41.0
	4-6	20.4	40.4	39.2	-18.8	24.7	41.2	34.1	-9.4	18.4	40.1	41.6	-23.2
	7-9	19.4	43.7	36.9	-17.5	27.2	43.3	29.4	-2.2	15.7	43.9	40.5	-24.8

2022年7-9月は見通し、その他は実績

売上高DI

(ポイント)

期	全業種				うち 製造業				うち 非製造業				
	増加	変わらず	減少	DI	増加	変わらず	減少	DI	増加	変わらず	減少	DI	
2021	1-3	14.1	20.2	65.7	-51.6	15.1	19.1	65.8	-50.7	13.6	20.8	65.6	-52.0
	4-6	34.5	21.6	43.9	-9.4	41.2	19.0	39.8	1.4	30.9	23.0	46.1	-15.2
	7-9	29.3	23.6	47.1	-17.8	43.9	20.6	35.4	8.5	22.6	25.0	52.4	-29.8
	10-12	31.1	26.8	42.0	-10.9	39.1	22.3	38.6	0.5	26.4	29.5	44.1	-17.7
2022	1-3	29.0	24.5	46.4	-17.4	35.9	23.0	41.0	-5.1	25.1	25.4	49.5	-24.4
	4-6	33.3	29.4	37.4	-4.1	35.4	28.6	36.0	-0.6	32.2	29.7	38.0	-5.8
	7-9	32.1	33.4	34.5	-2.4	40.2	30.2	29.6	10.6	28.2	35.0	36.8	-8.6

2022年7-9月は見通し、その他は実績

輸出向け売上高DI

(ポイント)

期	輸 出 向 け				
	増加	変わらず	減少	DI	
2021	1-3	9.7	48.7	41.6	-31.9
	4-6	22.5	58.1	19.4	3.1
	7-9	22.8	58.8	18.4	4.4
	10-12	21.7	56.6	21.7	0.0
2022	1-3	15.4	61.5	23.1	-7.7
	4-6	15.2	66.1	18.8	-3.6
	7-9	16.2	68.4	15.4	0.8

2022年7-9月は見通し、その他は実績

生産量DI

完成工事高

(ポイント)

期	全業種				うち 製造業				非製造業のうち 建設業のみ				
	増加	変わらず	減少	DI	増加	変わらず	減少	DI	増加	変わらず	減少	DI	
2021	1-3	18.3	23.3	58.4	-40.1	15.7	22.2	62.1	-46.4	26.6	26.6	46.9	-20.3
	4-6	33.1	23.5	43.3	-10.2	39.4	19.7	40.8	-1.4	14.7	34.7	50.7	-36.0
	7-9	37.8	25.5	36.7	1.1	42.6	22.6	34.7	7.9	24.6	33.3	42.0	-17.4
	10-12	34.2	25.9	39.9	-5.7	37.1	23.0	39.9	-2.8	24.6	35.4	40.0	-15.4
2022	1-3	33.2	26.9	39.9	-6.7	35.2	24.7	40.2	-5.0	26.6	34.4	39.1	-12.5
	4-6	28.1	29.6	42.3	-14.2	30.9	29.3	39.9	-9.0	20.0	30.8	49.2	-29.2
	7-9	27.7	35.6	36.8	-9.1	34.6	34.6	30.9	3.7	7.7	38.5	53.8	-46.1

2022年7-9月は見通し、その他は実績

受注量DI

(ポイント)

期	全業種				うち 製造業				うち 非製造業				
	増加	変わらず	減少	DI	増加	変わらず	減少	DI	増加	変わらず	減少	DI	
2021	1-3	11.5	28.7	59.8	-48.3	16.9	19.9	63.2	-46.3	8.8	33.2	58.0	-49.2
	4-6	29.1	28.5	42.4	-13.3	40.8	18.8	40.4	0.4	22.8	33.7	43.6	-20.8
	7-9	22.7	31.1	46.1	-23.4	42.0	20.2	37.8	4.2	13.8	36.2	50.0	-36.2
	10-12	25.4	34.0	40.6	-15.2	41.5	21.2	37.3	4.2	15.8	41.7	42.5	-26.7
2022	1-3	22.0	33.8	44.2	-22.2	36.6	24.1	39.4	-2.8	13.7	39.3	47.0	-33.3
	4-6	26.9	35.8	37.3	-10.4	34.9	25.4	39.7	-4.8	23.1	40.8	36.2	-13.1
	7-9	27.3	40.3	32.3	-5.0	38.3	32.4	29.3	9.0	22.0	44.2	33.9	-11.9

2022年7-9月は見通し、その他は実績

在庫量DI

(ポイント)

期	全業種				うち製造業				うち非製造業				
	増加	変わらず	減少	DI	増加	変わらず	減少	DI	増加	変わらず	減少	DI	
2021	1-3	11.5	48.1	40.4	-28.9	13.7	47.7	38.6	-24.9	9.3	48.5	42.2	-32.9
	4-6	15.9	49.5	34.6	-18.7	19.4	46.8	33.8	-14.4	12.3	52.4	35.4	-23.1
	7-9	15.4	50.6	34.0	-18.6	20.9	49.2	29.9	-9.0	10.8	51.8	37.4	-26.6
	10-12	18.3	50.0	31.7	-13.4	22.8	47.1	30.1	-7.3	13.2	53.3	33.5	-20.3
2022	1-3	18.7	47.5	33.7	-15.0	25.0	46.2	28.8	-3.8	11.9	49.0	39.2	-27.3
	4-6	22.9	49.2	27.9	-5.0	27.0	45.9	27.0	0.0	19.1	52.3	28.6	-9.5
	7-9	20.3	55.8	23.9	-3.6	22.8	55.4	21.7	1.1	17.9	56.2	25.9	-8.0

2022年7-9月は見通し、その他は実績

製品販売価格DI

(ポイント)

期	全業種				うち製造業				うち非製造業				
	上昇	変わらず	下降	DI	上昇	変わらず	下降	DI	上昇	変わらず	下降	DI	
2021	1-3	12.1	65.6	22.3	-10.2	10.5	69.5	20.0	-9.5	12.9	63.7	23.4	-10.5
	4-6	17.4	62.4	20.2	-2.8	16.1	67.9	16.1	0.0	18.2	59.5	22.4	-4.2
	7-9	18.6	64.2	17.1	1.5	20.7	69.7	9.6	11.1	17.7	61.7	20.6	-2.9
	10-12	24.3	61.5	14.2	10.1	26.6	60.3	13.1	13.5	22.9	62.2	14.9	8.0
2022	1-3	29.1	56.8	14.1	15.0	36.1	53.4	10.5	25.6	25.1	58.7	16.2	8.9
	4-6	39.6	47.4	13.0	26.6	44.7	47.9	7.4	37.3	37.1	47.2	15.7	21.4
	7-9	41.0	46.4	12.6	28.4	47.3	46.8	5.9	41.4	38.1	46.2	15.7	22.4

2022年7-9月は見通し、その他は実績

原材料仕入価格DI

(ポイント)

期	全業種				うち製造業				うち非製造業				
	上昇	変わらず	下降	DI	上昇	変わらず	下降	DI	上昇	変わらず	下降	DI	
2021	1-3	33.6	60.2	6.2	27.4	39.7	54.3	6.0	33.7	30.6	63.2	6.3	24.3
	4-6	47.6	46.5	5.9	41.7	56.2	41.1	2.7	53.5	43.0	49.4	7.7	35.3
	7-9	51.1	44.1	4.8	46.3	64.0	35.4	0.5	63.5	45.1	48.1	6.8	38.3
	10-12	67.5	29.4	3.1	64.4	82.7	15.0	2.3	80.4	58.4	38.0	3.6	54.8
2022	1-3	71.8	24.8	3.5	68.3	86.3	12.8	0.9	85.4	63.4	31.6	5.0	58.4
	4-6	78.7	17.7	3.6	75.1	89.9	8.5	1.6	88.3	73.4	22.1	4.6	68.8
	7-9	72.8	22.5	4.6	68.2	84.6	14.4	1.1	83.5	67.2	26.5	6.4	60.8

2022年7-9月は見通し、その他は実績

採算DI

(ポイント)

期	全業種				うち製造業				うち非製造業				
	好転	変わらず	悪化	DI	好転	変わらず	悪化	DI	好転	変わらず	悪化	DI	
2021	1-3	7.7	40.2	52.2	-44.5	9.1	43.1	47.7	-38.6	6.9	38.7	54.3	-47.4
	4-6	12.5	40.7	46.8	-34.3	15.1	42.9	42.0	-26.9	11.1	39.5	49.4	-38.3
	7-9	12.9	39.1	48.1	-35.2	17.6	38.3	44.1	-26.5	10.7	39.4	49.9	-39.2
	10-12	11.6	37.5	50.9	-39.3	14.5	35.0	50.5	-36.0	9.9	39.0	51.1	-41.2
2022	1-3	7.8	35.8	56.4	-48.6	6.9	35.3	57.8	-50.9	8.3	36.1	55.6	-47.3
	4-6	10.8	38.4	50.9	-40.1	7.4	39.7	52.9	-45.5	12.4	37.7	49.9	-37.5
	7-9	11.0	42.3	46.6	-35.6	9.6	42.6	47.9	-38.3	11.7	42.2	46.1	-34.4

2022年7-9月は見通し、その他は実績

資金繰りDI

(ポイント)

期	全業種				うち製造業				うち非製造業				
	好転	変わらず	悪化	DI	好転	変わらず	悪化	DI	好転	変わらず	悪化	DI	
2021	1-3	6.7	62.0	31.3	-24.6	7.7	63.8	28.6	-20.9	6.2	61.2	32.6	-26.4
	4-6	6.5	67.8	25.7	-19.2	7.3	72.5	20.2	-12.9	6.1	65.3	28.6	-22.5
	7-9	5.2	68.1	26.8	-21.6	7.5	71.7	20.9	-13.4	4.1	66.4	29.5	-25.4
	10-12	5.9	67.8	26.3	-20.4	9.4	62.3	28.3	-18.9	3.9	71.0	25.1	-21.2
2022	1-3	3.7	66.1	30.3	-26.6	4.2	67.1	28.7	-24.5	3.4	65.5	31.2	-27.8
	4-6	5.5	70.7	23.8	-18.3	5.3	69.0	25.7	-20.4	5.6	71.5	23.0	-17.4
	7-9	5.2	70.7	24.1	-18.9	4.3	72.6	23.1	-18.8	5.6	69.9	24.6	-19.0

2022年7-9月は見通し、その他は実績

借入れ難易感DI

(ポイント)

期	全業種				うち製造業				うち非製造業				
	容易	変わらず	困難	DI	容易	変わらず	困難	DI	容易	変わらず	困難	DI	
2021	1-3	19.4	68.6	12.1	7.3	20.4	67.5	12.0	8.4	18.8	69.1	12.1	6.7
	4-6	14.6	72.5	12.9	1.7	15.5	70.4	14.1	1.4	14.1	73.6	12.3	1.8
	7-9	13.4	73.5	13.1	0.3	13.3	75.0	11.7	1.6	13.4	72.9	13.7	-0.3
	10-12	14.7	73.0	12.4	2.3	15.2	71.6	13.3	1.9	14.4	73.8	11.8	2.6
2022	1-3	13.4	72.1	14.5	-1.1	13.7	73.6	12.7	1.0	13.3	71.3	15.4	-2.1
	4-6	11.5	75.5	13.0	-1.5	11.5	76.9	11.5	0.0	11.4	74.9	13.7	-2.3
	7-9	10.6	72.8	16.6	-6.0	10.6	74.4	15.0	-4.4	10.7	72.0	17.3	-6.6

2022年7-9月は見通し、その他は実績

設備投資実施

(%)

期	全業種		うち製造業		うち非製造業		
	ある	なし	ある	なし	ある	なし	
2021	1-3	29.2	70.8	37.2	62.8	25.1	74.9
	4-6	26.9	73.1	32.1	67.9	24.1	75.9
	7-9	29.6	70.4	39.6	60.4	25.1	74.9
	10-12	31.9	68.1	38.8	61.2	27.7	72.3
2022	1-3	31.4	68.6	41.0	59.0	25.8	74.2
	4-6	28.4	71.6	34.9	65.1	25.3	74.7
	7-9	33.7	66.3	42.8	57.2	29.3	70.7

2022年7-9月は見通し、その他は実績

設備投資意欲DI

(ポイント)

期	全業種				うち製造業				うち非製造業				
	上昇	変わらず	下降	DI	上昇	変わらず	下降	DI	上昇	変わらず	下降	DI	
2021	1-3	7.3	47.7	45.0	-37.7	9.7	48.2	42.1	-32.4	6.1	47.5	46.5	-40.4
	4-6	9.8	51.5	38.7	-28.9	17.5	46.5	35.9	-18.4	5.7	54.1	40.2	-34.5
	7-9	11.1	52.9	36.0	-24.9	18.3	59.4	22.2	-3.9	7.8	49.9	42.3	-34.5
	10-12	14.2	59.1	26.7	-12.5	20.5	55.2	24.3	-3.8	10.4	61.4	28.2	-17.8
2022	1-3	11.0	55.6	33.4	-22.4	17.1	59.0	24.0	-6.9	7.4	53.7	38.8	-31.4
	4-6	11.5	57.9	30.5	-19.0	19.1	56.3	24.6	-5.5	7.9	58.7	33.3	-25.4
	7-9	13.3	56.8	29.9	-16.6	20.7	54.7	24.6	-3.9	9.8	57.8	32.5	-22.7

2022年7-9月は見通し、その他は実績

雇用状況DI

(ポイント)

期	全業種				うち製造業				うち非製造業				
	過剰	変わらず	不足	DI	過剰	変わらず	不足	DI	過剰	変わらず	不足	DI	
2021	1-3	11.5	59.8	28.7	-17.2	15.6	61.3	23.1	-7.5	9.5	59.1	31.4	-21.9
	4-6	9.7	64.2	26.0	-16.3	12.2	67.0	20.8	-8.6	8.4	62.7	28.9	-20.5
	7-9	7.4	60.6	32.0	-24.6	8.6	63.1	28.3	-19.7	6.8	59.5	33.7	-26.9
	10-12	6.5	56.2	37.3	-30.8	9.9	57.5	32.5	-22.6	4.5	55.4	40.1	-35.6
2022	1-3	6.2	56.0	37.8	-31.6	7.7	54.5	37.7	-30.0	5.3	56.9	37.8	-32.5
	4-6	6.2	55.7	38.1	-31.9	8.1	57.0	34.9	-26.8	5.3	55.2	39.5	-34.2
	7-9	5.2	56.6	38.2	-33.0	6.5	55.7	37.8	-31.3	4.6	57.1	38.3	-33.7

2022年7-9月は見通し、その他は実績

今期トレンドシート(前期との差分)

*「仕入価格」は「前期との差分」が「プラス」は「悪化」、「マイナス」は「改善」を意味している。

令和4年4-6月期		1	2	3	4	5	6	7	8						
		景況	売上高	輸出	生産量	受注量	在庫量	販売価格	仕入価格	採算	資金繰り	借入れ難易感	設備投資実施	設備投資意欲	雇用
製造・非製造	合計	13.7	13.3	4.1	-7.5	11.8	10.0	11.6	6.8	8.5	8.3	-0.4	-3.0	3.4	-0.3
	製造業	8.4	4.5	4.1	-4.0	-2.0	3.8	11.7	2.9	5.4	4.1	-1.0	-6.1	1.4	3.2
	非製造業	17.8	18.6		-16.7	20.2	17.8	12.5	10.4	9.8	10.4	-0.2	-0.5	6.0	-1.7
4区分	製造業	8.4	4.5	4.1	-4.0	-2.0	3.8	11.7	2.9	5.4	4.1	-1.0	-6.1	1.4	3.2
	建設業	-14.9	-14.9		-16.7	-19.2	7.6	7.5	9.9	-14.7	5.0	-1.8	2.3	-11.4	14.0
	商業	24.1	25.4			23.2	22.1	15.0	3.4	17.6	10.8	2.5	1.2	1.7	-1.1
	サービス業	25.1	25.1			32.0		12.2	15.4	12.7	11.9	-1.6	-2.6	15.6	-7.7
業種別	食品	49.6	21.1	61.4	30.6	31.1	22.8	-1.7	18.1	0.3	13.2	-5.8	3.2	34.8	-4.0
	繊維・衣服	40.6	23.8	12.2	-4.2	21.0	24.8	-16.7	3.3	10.1	8.3	2.9	-1.8	6.6	-0.8
	木材・家具	-1.4	0.0	25.0	0.0	-13.0	7.1	7.2	-5.1	14.9	18.2	-7.2	1.3	-33.6	14.9
	紙・パルプ・印刷	9.2	25.8	0.0	-0.5	-5.2	14.5	40.0	14.5	17.7	9.2	11.6	-28.9	10.5	-17.1
	化学・プラスチック	-53.0	-19.0	-5.9	-25.5	-19.9	-5.5	11.1	-0.8	-8.3	-19.4	-2.4	-10.3	-19.9	31.1
	窯業土石	7.1	34.5	-2.2	42.8	32.1	28.9	37.5	12.5	5.6	10.4	7.4	0.0	-15.1	-10.7
	金属製品	9.1	-6.2	-24.8	-25.0	-25.8	-0.1	26.7	2.1	1.4	-2.8	1.8	-5.1	-6.0	23.5
	機械	0.0	-15.0	0.0	-20.1	-16.7	-20.7	3.5	-6.2	3.6	0.7	-7.6	-7.5	8.0	-5.5
	建設	-14.9	-14.9		-16.7	-19.2	7.6	7.5	9.9	-14.7	5.0	-1.8	2.3	-11.4	14.0
	運輸・通信	-1.7	-3.0			32.8		-8.9	-9.1	4.8	-8.1	-9.1	-6.3	8.3	-8.1
	卸売	11.4	20.4			18.6	30.8	12.9	-7.7	-8.4	10.8	0.2	7.0	-1.3	-1.8
	小売	17.1	18.6			17.1	15.5	5.6	7.5	27.3	6.9	1.3	-1.8	-0.3	2.6
	飲食店	99.9	79.5			72.5	33.8	66.7	17.5	48.3	30.0	9.6	2.5	20.1	-19.9
	サービス(余暇関連)	95.3	87.2			94.2		36.3	23.0	46.2	62.2	-4.3	-7.1	34.8	-24.4
サービス(企業関連)	13.4	14.5			12.4		10.6	18.3	5.6	5.2	2.4	-0.7	12.9	-4.2	

今期トレンドシート(原数値)

*「仕入価格」は「前期との差分」が「プラス」は「悪化」、「マイナス」は「改善」を意味している。

令和4年4-6月期		1	2	3	4	5	6	7	8						
		景況	売上高	輸出	生産量	受注量	在庫量	販売価格	仕入価格	採算	資金繰り	借入れ難易感	設備投資実施	設備投資意欲	雇用
製造・非製造	合計	-18.8	-4.1	-3.6	-14.2	-10.4	-5.0	26.6	75.1	-40.1	-18.3	-1.5	28.4	-19.0	-31.9
	製造業	-9.4	-0.6	-3.6	-9.0	-4.8	0.0	37.3	88.3	-45.5	-20.4	0.0	34.9	-5.5	-26.8
	非製造業	-23.2	-5.8		-29.2	-13.1	-9.5	21.4	68.8	-37.5	-17.4	-2.3	25.3	-25.4	-34.2
4区分	製造業	-9.4	-0.6	-3.6	-9.0	-4.8	0.0	37.3	88.3	-45.5	-20.4	0.0	34.9	-5.5	-26.8
	建設業	-46.2	-25.8		-29.2	-44.6	-18.6	9.1	92.4	-53.8	-10.6	9.1	24.2	-40.0	-40.9
	商業	-31.9	-2.8			-18.3	-5.8	38.7	62.7	-38.7	-24.7	-5.7	21.8	-36.4	-25.9
	サービス業	-8.6	-1.1			2.2		12.8	65.1	-30.9	-14.4	-3.8	28.3	-11.9	-38.3
業種別	食品	21.0	21.1	36.4	21.0	21.1	-10.5	31.6	89.5	-47.3	-10.6	-17.6	63.2	15.8	-42.1
	繊維・衣服	-33.3	-9.5	-10.0	-33.3	-9.5	-10.0	0.0	95.0	-52.4	-33.3	-9.6	19.0	-38.9	-5.0
	木材・家具	7.7	0.0	0.0	0.0	14.3	7.1	57.2	85.8	-21.5	0.0	-7.2	28.6	-15.4	-21.5
	紙・パルプ・印刷	-15.8	15.8	-11.1	-5.5	-5.2	-5.5	50.0	89.5	-47.3	-15.8	16.6	21.1	-15.8	-42.1
	化学・プラスチック	-53.0	-33.3	-41.7	-44.5	-38.9	-5.5	44.4	94.4	-83.3	-44.4	-16.6	27.8	-38.9	-11.7
	窯業土石	-25.0	-6.3	-22.2	0.0	0.0	6.7	62.5	87.5	-50.0	-26.6	0.0	25.0	-18.7	-50.0
	金属製品	0.0	12.0	-11.7	0.0	-4.0	16.0	60.0	96.0	-44.0	-24.0	8.0	48.0	0.0	-28.0
	機械	0.0	-3.5	7.7	-8.8	-7.1	0.0	24.5	80.7	-35.1	-14.3	7.4	36.8	16.1	-23.2
	建設	-46.2	-25.8		-29.2	-44.6	-18.6	9.1	92.4	-53.8	-10.6	9.1	24.2	-40.0	-40.9
	運輸・通信	-19.4	0.0			16.6		3.2	64.5	-45.2	-25.8	-3.2	45.2	-12.9	-58.1
	卸売	-28.6	-4.0			-8.1	-10.2	44.0	61.2	-55.1	-22.5	-2.0	16.3	-28.6	-20.0
	小売	-46.7	-16.6			-39.7	-11.9	29.9	60.2	-30.8	-26.9	0.0	21.8	-43.4	-25.7
	飲食店	33.3	73.3			60.0	40.0	66.7	80.0	-26.7	-20.0	-46.7	40.0	-26.6	-46.6
	サービス(余暇関連)	47.1	68.6			74.2		40.0	97.1	-5.7	2.9	-22.8	31.4	-5.9	-42.9
サービス(企業関連)	-21.5	-21.3			-22.8		7.4	56.2	-34.4	-16.4	1.6	23.1	-13.3	-32.0	

来期トレンドシート(今期との差分)

*「仕入価格」は「前期との差分」が「プラス」は「悪化」、「マイナス」は「改善」を意味している。

令和4年7-9月期		1	2		3		4		5		6		7		8
		景況	売上高	輸出	生産量	受注量	在庫量	販売価格	仕入価格	採算	資金繰り	借入れ難易感	設備投資実施	設備投資意欲	雇用
製造・非製造	合計	1.3	1.7	4.4	5.1	5.4	1.4	1.8	-6.9	4.5	-0.6	-4.5	5.3	2.4	-1.1
	製造業	7.2	11.2	4.4	12.7	13.8	1.1	4.1	-4.8	7.2	1.6	-4.4	7.9	1.6	-4.5
	非製造業	-1.6	-2.8		-16.9	1.2	1.5	1.0	-8.0	3.1	-1.6	-4.3	4.0	2.7	0.5
4区分	製造業	7.2	11.2	4.4	12.7	13.8	1.1	4.1	-4.8	7.2	1.6	-4.4	7.9	1.6	-4.5
	建設業	1.6	-15.1		-16.9	-6.1	0.3	1.5	-6.0	2.3	-4.5	-4.6	2.0	1.6	5.5
	商業	-7.3	-2.1			2.1	2.3	-2.1	-9.2	2.5	-2.8	-7.1	2.3	1.1	0.7
	サービス業	1.9	1.1			3.3		2.8	-7.8	4.0	0.5	-2.1	6.1	4.6	-1.5
業種別	食品	-15.7	10.5	0.0	0.0	5.2	0.0	15.8	5.2	0.0	-5.2	0.0	-7.6	-10.5	0.0
	繊維・衣服	44.4	14.3	-8.2	19.0	14.3	14.8	14.3	-9.3	4.8	9.5	4.8	9.6	27.8	-5.0
	木材・家具	0.0	28.5	-16.6	21.4	14.3	14.3	-7.2	14.2	14.4	7.2	0.0	7.1	15.4	-14.2
	紙・パルプ・印刷	0.0	-21.1	0.0	-5.6	-5.3	-5.6	-11.2	-10.6	5.2	-10.5	-16.6	10.5	-10.5	10.5
	化学・プラスチック	34.3	22.2	16.7	16.7	27.1	-16.7	14.4	-12.0	6.8	3.2	4.1	25.1	13.9	-7.0
	窯業土石	6.2	0.0	0.0	0.0	-6.3	0.0	-18.8	-25.0	0.0	-0.1	0.0	12.5	12.4	6.2
	金属製品	-4.4	16.0	11.7	24.0	28.0	5.7	-4.0	-8.0	16.0	20.0	-8.0	-4.0	-13.0	-5.3
	機械	3.6	14.1	7.3	15.8	17.7	0.0	11.2	0.0	7.0	-5.3	-9.2	10.6	-3.4	-10.1
	建設	1.6	-15.1		-16.9	-6.1	0.3	1.5	-6.0	2.3	-4.5	-4.6	2.0	1.6	5.5
	運輸・通信	22.8	22.6			10.1		0.0	-9.7	22.7	12.9	-3.2	3.2	-0.9	6.5
	卸売	-16.3	-4.0			2.1	4.0	2.0	8.2	16.3	-6.1	-10.2	6.1	-2.0	-4.0
	小売	-0.6	1.2			3.4	2.8	-3.9	-20.4	-5.6	1.2	-5.2	2.6	1.7	3.9
	飲食店	-13.3	-13.3			-6.7	-6.7	-6.7	-6.7	0.0	-13.3	-6.6	-11.4	6.6	-0.1
	サービス(余暇関連)	-25.9	-17.2			-22.8		-11.4	-5.7	-5.8	-5.8	-2.9	0.0	5.9	-4.2
サービス(企業関連)	4.4	0.8			8.9		7.6	-8.3	1.9	-1.0	-1.6	8.6	5.6	-2.7	

来期トレンドシート(原数値)

*「仕入価格」は「前期との差分」が「プラス」は「悪化」、「マイナス」は「改善」を意味している。

令和4年7-9月期		1	2		3		4		5		6		7		8
		景況	売上高	輸出	生産量	受注量	在庫量	販売価格	仕入価格	採算	資金繰り	借入れ難易感	設備投資実施	設備投資意欲	雇用
製造・非製造	合計	-17.5	-2.4	0.8	-9.1	-5.0	-3.6	28.4	68.2	-35.6	-18.9	-6.0	33.7	-16.6	-33.0
	製造業	-2.2	10.6	0.8	3.7	9.0	1.1	41.4	83.5	-38.3	-18.8	-4.4	42.8	-3.9	-31.3
	非製造業	-24.8	-8.6		-46.1	-11.9	-8.0	22.4	60.8	-34.4	-19.0	-6.6	29.3	-22.7	-33.7
4区分	製造業	-2.2	10.6	0.8	3.7	9.0	1.1	41.4	83.5	-38.3	-18.8	-4.4	42.8	-3.9	-31.3
	建設業	-44.6	-40.9		-46.1	-50.7	-18.3	10.6	86.4	-51.5	-15.1	4.5	26.2	-38.4	-35.4
	商業	-39.2	-4.9			-16.2	-3.5	36.6	53.5	-36.2	-27.5	-12.8	24.1	-35.3	-25.2
	サービス業	-6.7	0.0			5.5		15.6	57.3	-26.9	-13.9	-5.9	34.4	-7.3	-39.8
業種別	食品	5.3	31.6	36.4	21.0	26.3	-10.5	47.4	94.7	-47.3	-15.8	-17.6	55.6	5.3	-42.1
	繊維・衣服	11.1	4.8	-18.2	-14.3	4.8	4.8	14.3	85.7	-47.6	-23.8	-4.8	28.6	-11.1	-10.0
	木材・家具	7.7	28.5	-16.6	21.4	28.6	21.4	50.0	100.0	-7.1	7.2	-7.2	35.7	0.0	-35.7
	紙・パルプ・印刷	-15.8	-5.3	-11.1	-11.1	-10.5	-11.1	38.8	78.9	-42.1	-26.3	0.0	31.6	-26.3	-31.6
	化学・プラスチック	-18.7	-11.1	-25.0	-27.8	-11.8	-22.2	58.8	82.4	-76.5	-41.2	-12.5	52.9	-25.0	-18.7
	窯業土石	-18.8	-6.3	-22.2	0.0	-6.3	6.7	43.7	62.5	-50.0	-26.7	0.0	37.5	-6.3	-43.8
	金属製品	-4.4	28.0	0.0	24.0	24.0	21.7	56.0	88.0	-28.0	-4.0	0.0	44.0	-13.0	-33.3
	機械	3.6	10.6	15.0	7.0	10.6	0.0	35.7	80.7	-28.1	-19.6	-1.8	47.4	12.7	-33.3
	建設	-44.6	-40.9		-46.1	-50.7	-18.3	10.6	86.4	-51.5	-15.1	4.5	26.2	-38.4	-35.4
	運輸・通信	3.4	22.6			26.7		3.2	54.8	-22.5	-12.9	-6.4	48.4	-13.8	-51.6
	卸売	-44.9	-8.0			-6.0	-6.2	46.0	69.4	-38.8	-28.6	-12.2	22.4	-30.6	-24.0
	小売	-47.3	-15.4			-36.3	-9.1	26.0	39.8	-36.4	-25.7	-5.2	24.4	-41.7	-21.8
	飲食店	20.0	60.0			53.3	33.3	60.0	73.3	-26.7	-33.3	-53.3	28.6	-20.0	-46.7
	サービス(余暇関連)	21.2	51.4			51.4		28.6	91.4	-11.5	-2.9	-25.7	31.4	0.0	-47.1
サービス(企業関連)	-17.1	-20.5			-13.9		15.0	47.9	-32.5	-17.4	0.0	31.7	-7.7	-34.7	